

● 発

行●

郵政産業労働者ユニオン

東京地方本部

発行責任者 $\mp 104 - 0032$

中央区京橋 3-6-3

京橋通郵便局 5F

鵜島

長は、 |求めていきたい」と支社の誠意ある対応を求めました。 る実態、 働力不足、 る」と職場実態を指摘し「心と身体にゆとりある職場作り 9 月 「行き過ぎた営業問題、 1 3 交通事故の増加、 超勤過多による36協定違反、 Ĭ, 大会要求で支社交渉を行い、 郵便物の隠匿も数多く発生してい 65歳雇い止めなどによる労 心の病が増えてい 冒 頭、 鵜 爲去委員

る。 した。 労働者 差を生み、 くなる」と見直しを強く求めま に関して「労働者間の競争で格 冒 生活設計も立てられない。 頭、 0 共助共援などできな 新 退職金まで影響す 人事 • 給 与 制 度

出 ればその分を社員が組み、 \vdash る」と追及しました。 の廃止につい 要員問題では、 便物数の減少、 費用対効果では赤字にな 間 が遅くなり超勤にな て、「廃止され 組立ゆうメイ 基本は自分 支社は、 配 達

> とに、「支店からも挙げて欲し あり、 をしている」と回答しました。 でやるのは困難である」また、 は充分保たれる。すべてを自分 組合は、「ゆうメイトでも品質 も保たれる」と回答しました。 で組立て自分で配る。 い。支社が支店に出向いて調査 通念的な超勤は要員不足で 増員が必要」と求めたこ 品質管理

重すぎる処分見堕せり

職は処分が重すぎる」との抗議 をした社員に対し、 \mathcal{O} 交通事故に関しては、 例を挙げ、 「一方通行逆走 「 7 日 の 目黒支

店

いる」と回答しました。 に支社は

間を守るよう、社員と対話をし とその対策を問うと、「勤務時 協定を超える人が出る恐れ も挙げない支店の体質がある」 ある』との指摘を聴かず、上に ている」と回答しました。 起こした背景に「組合の 木支店の例を挙げ、協定違反を 36協定違反問題では、代々 3 6 が

うとしている社員のモチベ ションを下げることは撤 望を持って一生涯郵政で働こ 用の道を見合わせるのは社 藤社長の国会答弁に反して って働ける環境を作る』との斉 登用の後退だ。『将来希望を持 社員登用問題で、 と強く求めました。 仕事に誇りを持ち、夢と希 「正社員登 口 Ì 員 廿



「規則に則って行って

問うと、支社は、「持ち込みの た人にも同じように目標設定 るがつかめない」と回答。 で売られている。 に金券ショツプに50円以下 している。少しは、 組合は、「精神疾患で休んでい ているか調査は本社がしてい 実態は認識している。 ンス違反との認識はあるか」と 営業問題では、「年賀発売日 コンプライア 配意したら 誰がやっ 。また、

この 間外営業で賃金措置をするか 回答。 をさせるのか、 また、「友人、 という施策に対し質問しまし どうか」と追及しました。 渉で引き続きおこないます。 をしたかどうかで判断する」 のか」と問うと、 勤務時間外になる。時間外営業 知人、親戚も含まれるとあるが た。「エリアだけでなく、友人、 しないかは管理者が業務 さらに、「私のお客様100」 情報を誰が管理するのか」 この問題は、 賃金措置をする 知人等の営業は 支社は、 年繁要求 命 「時